

平成22年度第1回安城市総合交通会議 会議録

1 開催及び閉会に関する事項

平成22年8月2日（月） 午前10時～11時20分

2 開催場所

安城市役所 第10会議室

3 出席委員及び事務局職員 別紙委員名簿参照

4 事務局あいさつ

（ 内 容 省 略 ）

5 議事

（1）会長及び副会長の選任について

前任の伊豆原会長および大参副会長を事務局から推薦

『以下、各委員の意見等』

【委 員】意義なし

会長あいさつ（ 内 容 省 略 ）

（2）あんくるバス市街地線のルート変更案について

資料1によりあんくるバス市街地線のルート変更について説明

現在、総合福祉センター内ロータリーに設置して停留所を県道安城碧南線側に移動させ、停留所の移動させるのに伴い、ルート変更を行う。

『以下、各委員の意見等』

【委 員】意義なし

（3）あんくるバス東部線路線のルート変更案について

資料2よりあんくるバス東部線のルート変更について説明

現在のルートは、車幅が狭く、不便が生じたため、以前まで走行していた道路のほうが車幅も広く安全に通行できるため、車両規制されている時間帯を除きルート変更を行う。

『以下、各委員の意見等』

【会 長】 現在、資料2のピンクのルートを通っている、朝の1便の行きだけにして、帰りからは右図のオレンジのルートにしたいということですね。何かご質問ございませんか？

【委 員】 ルートの変更については、了承しますが、1便の朝だけルートが違うというのは、この地域の市民には不便ではないのでしょうか？

【会 長】 この地域の人には、きちんとお話ししないといけないと思いますが、東部線についての説明は考えていますか？

【事務局】 ルートについては、安全なルートを選んで運行したいと考えております。ピンクのルートは幅員が狭く、地元の方もバスとすれ違えず、どちらが下がるのかと意見を聞いておりますので、広い道路を使うことで良くなると思っております。バス停の位置が変わるわけではないので、特にお話しをさせていただくということは考えておりませんが、車内でポスター等でお知らせさせていただきます。

【会 長】 送迎の車が止まるというのは、広いルートのほうでなく？

【事務局】 ピンク・オレンジのルートには止まらないのですが、幼稚園の前の東西ルートに停車され、幼稚園さんには、交差点付近に三角コーンを置いてもらっているのですが、その外側に車を止めてしまい、車幅が狭くなってしまっている現状です。

【委 員】 幅員が3メートル以下ではバスが通るには不可能ではないのかと思います。そういった道路が他の路線にも存在するのかわからないのか、もし存在するならば、見直しが必要ではないのかと思います。そういったことをすべての路線が同じ基準でルートが選定されるように道路環境を整え、この幅員以下ではルート設定しませんよ、バス停の設置も交差点何メートルはだめだよと一度整備していただきたいとバス運行業者の立場から思います。

【事務局】 昨年10月まではこのオレンジ色のルートを通っておりまして、そのときに業者さんにルートは全て同じほうが良いといわれ、現在のルートへ変更したのですが、不便が生じたため、不規則にはなりますが、元に戻すということになりました。今いただいた意見につきましては考えていかないといけないのかなと思います。しかし、大幅にバス停が減ったり、ルートが変更となり利用者の方や運行に支障が出るようではいけません。今後の見直しには詰めていかななくてはならないかなと考えております。

【会 長】 もう一つは、時刻表どおり運行されているかどうかというチェックですね。運行する側としてはその点について、スケジュールを守り、またルート上で支障が出てくることがおきていないかどうか、事業者からもご検討いただき、実際に運行しているのは

運転手なわけですから、お聞きしていただいて、運行上で問題がないのかどうか、全路線でどんな問題点が出てくるかと整理していただきたいと思います。3メートルという道路幅ですが、ポンチョがぎりぎりに入れる道路幅だと思います。そういった車両の条件も含めて検討・チェックしていただきたいと思います。

また、通学路ということですので、朝、児童の安全を考えますと、オレンジ色が進入禁止となっておりますので、使えないということによろしいでしょうか。

【事務局】 通学路ということで、学校にもお話ししてございまして、運行には十分注意してほしいという要望をいただいておりますので、運行業者さんにも充分注意してもらいたいと思います。

【会 長】 ここは通学路といってもフリーじゃないよ、安全というのは、お互いに気をつける必要があるということと、小学生の児童にここはバスが通るということを教えていただくといいかと思います。

(4) 安城市総合交通会議要綱の改正案について
資料3により軽微な修正・変更について説明

『以下、各委員の意見等』

【会 長】 運輸支局はよろしかったでしょうか？

【委 員】 はい、かなり県内の市町村で行われておりますので、問題ないと思いますが、協議を省略することができるものとするということですので、事務局さんの予定が合えば、会議に掛けることがあるのではと思います。

【事務局】 基本的には、交通会議は、バスの議論だけではなく、いろいろな交通に関する会議を行うということですので、会議の予定がある場合は、議案にあげさせていただきます。まったく会議の予定がないときにこのことを考えてございまして、特に重要な議案で、ご意見をいただきたいときには、議題にあげさせていただきたいと考えております。

【会 長】 という意味での「できるものとする」ということですね。他の市町でもこういったことをやっております。申請して、支局は受けていただくことになるとは思いますが、修正・変更点の報告時に、ご意見がある場合は、ご意見をいただいて、それに対して、回答いただけるということですね。

【事務局】 はい、こちらでご意見いただいて回答させていただきます。

(5) その他について

あんくるバス運行開始10周年記念事業として、あんくるバスの終日乗車無料の日の実施計画について説明

- 【委員】** 当社、安城を走っておりまして、土曜日は1日に上下で60本ほどが走っております。あんくるバスが無料となりますと、同じようなバス停から乗られるお客様が名鉄バスも無料じゃないのかと間違えて乗られたり、そのようなことが生じたときは、当社が対応しないといけないのかなと思っておりませんが、その対処、やり方について、無料券が配られずに乗車人数もカウントせずに解放されるということだと思えます。当社の場合、後ろ乗り前降り、あとに運賃を払ってもらう、という形をとっています。乗っていただいて、降りる時に、無料じゃないのかというトラブルが一番怖いわけでございます。広報のやり方ですとかの調整を行ってほしいことと、補助をいただいている立場でありますので、あまり多くは言いませんが、1日に600人ほど乗っておりますので、収入減もちょっと怖いかなと思っております。冒頭のあいさつで1月から6月の乗車人数16万人乗って33%増加している。当社は、20年度、21年度の比較ですと、90%と減っている状態であります。大変厳しいという状態でありますので、一部乗車区域が同じで無料のあんくるバスと無料でない名鉄バスがあるという関係の対処のお考えを聞かせていただきたいと思えます。
- 【事務局】** 同じ乗車区域として名鉄新安城・JR安城駅・更生病院間ですが、平日更生病院へ行かれる方が一番多く、あんくるバスも平日よりも休日の乗車人数が少ない状況であります。土日限定で無料券を発行しているわけですが、実際に初めて乗られるお客様に機会を提供したいと思って、設定したいわけです。名鉄バスさんには、影響が出てくるとは思いません。広報の仕方でまた心配が出てくるとは思いますが、広報のやり方について調整させていただきます。10周年記念ということで1日だけのことで、名鉄さんには、大変申し訳ございません。安城市自体が、こういう機会を設けたり、バスに乗車してもらうためにはどうしたら良いのかというのをございます。将来的にバスに乗車された方のうち、継続的に半数の人が乗るのか、また名鉄バスさんに乗るのか分かりませんが、その減ってきている絶対数を増やしていきたいと思えますので、無料というイベントにご理解いただいて、ご協力していただきたいと考えております。
- 【会長】** バスを利用するという仕組みを考えていかななくてはいけない。その日は、無料のバスと有料のバスができてしまう。あんくるバスは無料にするけど、名鉄バスはどうして無料にしないのかという意見が出てきてしまう。この点についてお互い調整しながら、市民の方にバスをご利用していただけるような仕組みをと思うところであり、市民の方にどうやってPRしていくか、名鉄さんにご協議いただきたいと思えます。交通基本法が国としてこれから制定していくとなると、コミュニティバス・路線バスというのをどう協調していけるか、競合にならないように、みなさまの足を確保するという仕組みにメスを入れるということが基本となると思われま。

【委員】 サンクスフェスティバルの日に、10周年記念で乗車無料とするということですが、企画の中に組込むのか、それ以外の形でPRされるのか。

【事務局】 サンクスフェスティバルに自転車関連で参加しているので、組込めるなら、組込んで行きたいし、また広報等で独自にPRもしていきたいと考えております。10周年記念で無料にする日はサンクスフェスティバルの日ですよともPRしていきたいと考えております。

中心市街地では駐車場がないということで、なかなか参加できないという実情がありましたので、この日に設定をしたいというのが大きな点であります。

【会長】 中心市街地活性化という一環でよいと思われま。

【委員】 サンクスフェスティバルの日に無料にすることは決定事項と思いますが、当初更生病院に行く手段の確保と、歴史博物館に行く人を増やそうということも含めて初めてあんくるバスを走らせたという背景があります。歴史博物館はとてもよい施設で来館者が少ないのはとても残念でもったいないことなので、無料券を発行してもらうことでも構いませんが、是非、歴史博物館とも何か協力し合えるようにしてもらいたい。

【事務局】 乗車無料の日もそうですが、9月からは、あんくるバスの利用者が減ってくる傾向があります。今年9月から11月までの3ヶ月間、あんくるバスを利用してのデンパークへ来園された人に、抽選で景品が当たるというイベントを実施します。このような形でということと思いますが、また、改めて検討させていただきます。

【委員】 デンパークの来園者は多いと思えますし、サンクスフェスティバルもかなりの人が来てもらえますが、昨年10月に行ったイベントに参加される人が少なく、あんくるバスで来られた方には何か景品を渡すなどして、物につられて来るかもしれないのでお願いいたします。

【事務局】 大変貴重なご意見ありがとうございました。個々の施設の企画で、お客様数に対し主催者は落胆することもあるわけですが、提案の主旨等を踏まえて、あんくるバスで対応していくというのには、限界があるのではないかと思います。

あくまでも、あんくるバスは、交通の足として確保することが第1でありますので、歴史博物館の企画展や企画者とのタイアップとなると、検討させていただく問題かなと思われました。

【会長】 今の歴史博物館だけに限らず、また公共施設に限らず、いろいろなイベントが行われると思いますが、市民の皆様には、あんくるバスの沿線であれば、あんくるバスの車内に情報提供してもらいたいですね。事業者さまや特に運転手さんの負担になって

はいけません、運転手から車内放送で案内してもらうことなど、移動の手段ではありますが、イベントなどの参加にもあんくるバスを利用できるということお金を掛けずにやってもらうことができるかなと思います。最初の目的は高齢者が更生病院に行けるようにだったわけですが、たくさんの市民の方にご利用してもらえるとこの風に変ってきていると思います。

名鉄バスも含めて、みなさんの足となっていけるように努力していただきたいと思います。

サンクスフェスティバルについては、名鉄さんにご協議いただき、それに限らず、沿線でイベントがあれば、バスのご利用できるように情報提供をしていただくということでもよろしくをお願いします。ほかに何かありませんか。

【委員】 前任の長谷川から資料をいただきまして、安城市総合交通計画の策定の方針を見させていただきました。方針のその後の変更・改定があるのかなと思ひまして、実施プログラマーの中で、安全安心な交通環境・公共交通機関のサービス、利用向上の中に、交通空白地域のデマンドタクシー導入の件があります。H32年以降に丸が付いていたわけですが、3月の会議では今年から検討課題にいはてはどうかとされていた訳ですが、その後いかがでしょうか？タクシーも電話1本で、誰でもいつでもどこでもこちからこちまでという利便性を持った公共交通機関の1つでございます。そういう意味でみなさまにはいろいろなご利用をいただけると思われまふ。その一役を担って行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いします。

【事務局】 総合交通計画については、事務局で準備ができておりませんので、早急に資料を作成して、送付させていただきたいと思ひます。デマンドタクシーにつきましては、大興タクシーさんともどういふ体系でやれるのか、今のシステムで大丈夫なのかとお話しさせていただき、検討に入っております。今の段階で「導入します」といふ状況ではありませんので、じきにご報告できるようなことがくると思ひます。平成22年度から検討開始していることをご報告させていただきます。

前回の会議で今年度以降といふことでしたが、どこまでやれるかといふことは次回の会議の時にご意見いただきたいと思ひます。